

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100051
事業所名	グループホーム えがおⅡ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、盆踊り等の地域行事への参加がある。今年度より「えがおカフェ」を開始し、デイサービス一階フロアを開放して三回実施した。マッサージ機やエアロバイク等の機能訓練体験ができ、お茶を振る舞い談笑したりと地域交流の場として活用された。カフェでの手伝いボランティアの協力や、近隣住民にアニマルセラピーを依頼したりと、地域との協働関係が築かれた。介護相談やホーム内見学等にも応じ、認知症ケアの拡充を図った。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は二か月毎に開催し、自治会長、いきいき支援センター職員、利用者、家族の参加があり、意見交換や情報交換の場として活用されている。意見箱の要望を議題に挙げ、朝食時にパン食の希望に対して推進会議内で検討し、利用者の嚥下状況を踏まえサービス実施に繋げた。いきいき支援センターより「介護予防・日常生活支援総合事業」について、参加者に解りやすく説明しがあり、家族の疑問や相談に応じた。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の介護保険課や区の生活保護課等との連携を図り、電話でホームの運営状況を伝え協働関係を築いている。生活保護の申請について相談に応じてもらっている。市主催の研修会の参加や、グループホームの連絡協議会やケアマネージャーの会合等に出席している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会を発足し、運営推進会議時に家族会として集いがある。「えがお新聞」を1~2か月毎に作成し、利用者の暮らしぶりを伝えている。意見箱を設置し、意見や要望は推進会議や即座に対応し、改善に向けて支援している。水分補給や散歩の要望についての意見があり、職員間で周知、検討し、サービスに反映している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	事 項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○			